

# 取扱説明書

## シンセティックロープスリング

### 安全上の注意事項

- ・ シンセティックロープスリングをご使用になる前に、作業者の方は本取扱説明書を、必ずお読みください。また、いつでも読めるように保管してください。
- ・ 本取扱説明書ではシンセティックロープスリングの使用基準事項を『危険』『注意』の2つに区分しています。表示の意味は下記の通りです。

**△危険** 取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が死亡、又は重傷を負う事になる場合。

**△注意** 取扱いを誤った場合に、危険な状況となり、使用者が怪我を負う恐れのあるもの、または製品等の物的損傷を招く事になる場合。

※なお『△注意』に記載した事項でも、状況によっては重大事故につながる可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

### シンセティックロープスリングの使用基準

**△危険** 本警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う原因となります。そうした危険を避ける為、シンセティックロープスリングを使用する時には、次の使用基準を守ってください。

**1、指示又は要求事項** シンセティックロープスリングの指示又は要求事項は、次の通りです。

- a) シンセティックロープスリングは、使用状態に合った適切なものを選定し、使用してください。
- b) 化学薬品（酸・アルカリ等）に触れる中では、使用しないでください。
- c) 角張った荷にはスリーブを当てる、または当てものを使用し、横滑りさせないように注意してください。
- d) 通常温度の環境下でご使用ください。
- e) 水、油などに濡れると、滑りやすくなるので注意してください。
- f) 荷は、バランスよく吊ってください。
- g) 目通し吊り（チョーク吊り）する場合は、十分に深絞りして吊ってください。
- h) 他のつり具又は補助具類と組み合わせて使用するときには、連結部分でシンセティックロープスリングが損傷することのないように注意してください。
- i) 荷の下から引き抜くとき、シンセティックロープスリングを損傷しないように注意してください。
- j) シンセティックロープスリングは、熱、日光、薬品などの影響を受けない場所に保管してください。
- k) シンセティックロープスリングを対で使用するときには、同一の材質、長さのものを選定してください。
- l) シンセティックロープスリングに付いたタグは切断しないでください。
- m) 吊り荷の下は立ち入り禁止です。絶対に人が入らない様にしてください。
- n) その他特殊な状態で使用するときは、(株)パーマンコーポレーションまでご相談ください

## 2, 禁止事項 シンセティックロープスリングの禁止事項は、次の通りです。

- 荷を吊ったままで、長時間放置しないでください。
- 極端なねじれ、結び又は互いに引っ掛けた状態で使用しないでください。
- ねじれた状態で長時間加圧したり、エッジ状のもので加圧した状態で放置しないでください。
- 地面又は床の上を引きずったり、金具付きのものを高所から落下させたりしないでください。
- シンセティックロープスリングを改造して使用しないでください。
- 点検の結果、廃棄することになったシンセティックロープスリングは、補修したり使用荷重を減らすなどして再使用しないでください。又、異常があった場合は、直ちに使用を中止してください。




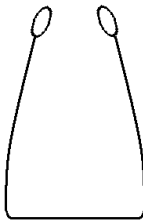
## 3, その他の注意事項

- 荷の吊り方・吊り角度によって使用荷重は変化します。表1を参照して、使用するシンセティックロープスリングを決定してください。
- 表1に記載されている使用荷重を超えて荷を吊らないでください。
- 目通し一本吊りでの縦吊りはしないでください。
- クレーン等で玉掛作業を行う場合は、『労働安全衛生規則』及び『クレーン等安全規則』に定められた有資格者が行ってください。
- 特殊な条件で使用する場合は、(株)パーマンコーポレーションに事前に相談してください。
- 『表2 点検基準』にてシンセティックロープスリングの使用期間を定めています。当社からの商品販売日を使用開始日とさせていただきますので、それを基に使用期間を順守してください。
- 本取扱説明書に記載されている内容通りに使用して発生した商品に関する不具合に関しては、3年間品質の保証をさせていただきます。

## シンセティックロープスリングの吊り方と使用荷重

**△危険** 吊り方、角度及び吊り荷の形状により使用荷重は変化します。必ず、表1及び、吊り荷の形状を確認して、荷物にあったシンセティックロープスリングを選択して、使用荷重内で使用してください。

表1 ロープ径と吊り方による最大使用荷重

ロープ径	破断荷重	最大使用荷重		
	ストレート吊りの場合	ストレート吊り	チョーク吊り	バスケット吊り
				
φ 8.8 mm	9,600kg 以上	1,600kg	1,280kg	3,200kg
φ 10.0 mm	12,000kg 以上	2,000kg	1,600kg	4,000kg
φ 13.0 mm	19,200kg 以上	3,200kg	2,560kg	6,400kg

## シンセティックロープスリングの点検基準

**⚠ 危険** シンセティックロープスリングを使用する作業者は、必ず日常点検を実施してから作業を始めてください。

**1, 日常点検及び定期点検** シンセティックロープスリングは、日常点検<sup>(1)</sup>及び定期点検<sup>(2)</sup>を行って使用してください。

注<sup>(1)</sup> 使用前に行う点検をいう。

<sup>(2)</sup> 定期的に行う点検で、使用頻度によって異なるが、通常1か月ごとに行う。

**2, 点検基準** 点検項目、点検方法及び廃棄基準は、表2による。

表2 点検基準

点検項目	点検の種類		点検方法	廃棄基準
	日常点検	定期点検		
損傷の状態（磨耗、傷、損傷）	○	○	目視	ロープの撚（よ）り合わせがわからない程毛羽立ち、繊維が損傷しているもの。
	○	○	目視	太さの1/5以上に相当する傷、損傷等のあるもの。
その他の異常	○	○	目視	熱、薬品による著しい損傷のあるもの。
	○	○	触診	端的及び全体的に硬化、軟化のあるもの。
	○	○	触診	圧縮されたロープのように折り曲げることができないもの。
	○	○	検査	荷重をかけない状態で、新品時に比べてロープ径・サイズが伸びた・縮小したもの。
	○	○	検査	一度でも高熱、衝撃荷重が加わったもの。
	○	○	検査	荷重などによる、硬化が認められるもの。
使用期間	—	○	管理台帳、表示などの確認	シンセティックロープスリングの使用状況によって、外観に損傷及び異常がなくても、下記の使用期間を超えるもの。 屋内で使用する場合：使用開始後7年 常時屋外で使用する場合：使用開始後3年
スリーブ・当てもの	○	○	目視	著しく変形又は破損したもの。

**⚠ 注意** シンセティックロープスリングを使用して重い荷を移動する時は、常に危険な状態となります。本取扱説明書記載以外の使用や点検をせずに使用すると、危険の割合が高くなります。シンセティックロープスリングを管理する責任者を決めて、作業基準、点検基準を遵守して、正しく使用してください。

